

オーレ口通信

58号

イングリッシュ・フォー・ニッポン2008



KFSに来て...

Y・T

僕はフリースクールに来て2年ぐらいいになります。初めは気持ちがいじめで病んでいました。徐々になんか着いてきました。悪口や暴力に近い嫌な思いもしましたが、人と料理をしたり、運動したり、会話したりと学校よりも普通に過ごせるようになって嬉しい思いもあります。自信も持てるようになって、ここに来て良かったなあと 생각합니다。

編集後記

初めまして。久々のオーレ口通信ということですが、編集担当になった千琴です。散々みんなに早く原稿を書いておいて、最後の最後まで私が書いていませんでした。

神戸自由学院に来て、もうすぐ一年になるというところ。やーっと暑い夏が終わり、夕方は涼しい風が感じられる季節になりました。今年の夏は、キャンプに

行ったり、ギターを始めたりととても充実した毎日でした。たぶん。いや、畑の水やりで蚊に刺されまくったことが一番の思い出かもしれない。

もうすぐ午線ウオーワ。初めての参加ですが、筋肉痛になるんやろなあ。明日からストレッチでも始めたいと思います。

(あらう)

いまさらですが、最近通信高校のサポート校「神戸自由学院」も運営しています。今、生徒たちは高校を卒業しようとして通っています。神戸自由学院に通って、高校の単位が取れるんです。フリースクールではありません。なんか冗談みたいですが、ほんとです。

明石の時...もう10年ぐらいい前に、通信高校生の支援をしていたのを思い出します。その時は、完全にフリースクールの延長だったので、今とはまったく異なるのです。

神戸フリースクールと神戸自由学院、これからどうなるか非常に楽しみな状況です。フリースクールしか入ったことがない方は、是非一度お越しください。

(けだ)

あとがき

かれこれ1年くらい「オーレ口通信」を出す気にならず、とうとう今年は20周年を迎え、よし出すぞと、高校生の子コトちゃんに編集長を押しつけ、ケンタやホクトをけし掛け、スタッフや子どもたちに原稿を依頼し、ひさびさのオーレ口を届けます。オーレ口という意味を覚えていますか？「金を掘る人」という原意で、そこから「夢を追う人」に転化したみたいです。僕はこれからは金を掘りあてるまで夢をあきらめないう。これまでも通りぬけの支援・ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。また開校したばかりの「神戸自由学院」の発展のために「寄付・カンパ」をよろしくお願いいたします。

(たべ)

カンパ&ご協力ありがとうございました！

光葉さん、永井さん、多淵さん、大林さん、杉浦さん、大石さん、増井さん、高橋さん、水本さん、佐藤さん、四本さん、竹林さん、羽下さん、佐澤さん、国本さん、市野さん、石井さん、森田さん、山崎さん、寺岡さん、三井さん、井上さん、田中さん、藤田さん、杉浦さん、荻野さん、岩本さん、江角さん、八十さん、山崎さん、所さん、興宗寺さん、モンマート広岡さん、ルーシーさん、アカージュさん、神戸屋精肉店さん、小川印刷さん、全国ネットワーク、神戸アルパトロス、ふりー！すくーりんぐ、勇志国際高校、相生学院高校（順不同）



随時カンパを受付けています。郵便振込み 01120-9-81163 神戸フリースクール

兵庫県神戸市中央区下山手通8丁目8-10

078-366-0333

<http://kfs.freeshool.jp/>

kfs2008@live.jp

※オーレ口通信の一部、または全文の無断転載を禁止します

KOBE FREE SCHOOL

神戸自由学院

古い母の聖書

田辺 克之

2年前、85歳で亡くなった母が、おそらく70年余り使っていたであろう聖書を手につけたロマ書12章の最後の行には、「汝ら責むる者を祝し、これを祝して呪うな。喜ぶものと共に喜び、泣く者と共に泣け。相互に心を同じうし、高ぶりに思ひをなさず、反って卑きに附け。なんじら己を聡しとすな。」と書かれていた。母はいつもこの言葉に後押しされて生きてきたのだらうか。労働組合の委員長という重責を全うした母には、どうしても許せない敵も少なくなかっただらう。腹の立つこともあっただらう。でもボクや妹にはなにも洩らさず、いつも陽気にふるまっていた。いまボクにこれだけの芯の強さがあるだらうか。すぐ腹を立て、「許せない」と叫んでしまう浅薄な自分がいる。泣く者の側にきちん

立って、その涙を受け止めて、いっしょに泣いてきたのか。その涙はすぐに乾き、また日常に埋没する恥知らずな自分がいる。褒められたらおぼせ、咎められたら落ち込む脆弱な自分がある。20代後半に神学校を飛び出し、東京のドヤ街で青力ンしている飲んだくれ相手に伝道する牧師に出会い、赤岩栄にであい、田川健三に出会った。そしてこの時期にボクの支柱というものができたように思う。体制に安易に与せず、批判精神を持ち続けるのだと先輩らに叩き込まれた。あれから40年、支柱は曲がっていないか、支柱は腐りかけていないか点検してごらんと、母が語り掛けてくれたように思う。

フリースクールは
はたち。

ちくりん

神戸フリースクールが始まってから、今年で丸20年だという。もう20年？

目を閉じて

麻衣

一生に一度の晴れ舞台
そっと目を閉じて

大きく息を吸って
目を開いて
不安の壁を破る

そこにはきつと
光のステージが待っている

怖がらず
さあ行こう

引越し

ヤッシー

6月に芦屋に引っ越してから3ヶ月が経ちました。実はまだ近所のこともよく分からないし、何と住所も電話番号も覚えていません。もし住所を尋ねられたら恥ずかしいので、でたらめに書くか、前に住んでいた香川の方の住所を書きし

普段、買い物は三宮に行くんですが最近になって大阪に行ってみました。三宮も大きいと思っていたのですが香川と全然規模が違い驚きました。まだまだ、うろろろする場所がありそうです。

「今ハマってる事」

聡

僕は今ジャニーズにハマってます。
ハマったきっかけは、学校の卒業生にジャニーズが好きな人が居て、番組を見たのがきっかけです。
番組を見たら面白くてハマりました。一緒にライブも行ったりして、ライブで友達がたくさんできまして。みんなから「男の子でジャニーズが好きなの珍しいね。」といわれました。みんな好きな担当が違うので勉強になります。地元以外のライブにも行きました。とっても楽しいのでこれからも行きたいです。



やっと20年？20年前に不登校だった子どもは、間違いなくオトナになっている。そう、どうせオトナになっちゃう。どんなに周りのオトナたちが子どもを「学校に行けなくて」なんて憂いていたとしても、どうせオトナになっちゃうんだ。
20年前と何が変わっているのか？何かが変わっているのか？わたしもオトナになり、仕事の関係で学校を外から見る機会が多くなってきた。とても貴重なことだ。「あ、先生ってこんなに大変だったのね」とも思い、「子どもたちは

窮屈よね」とも思い、勝手に評価する。そして、何も変わっていないのだからと考えたりする。いや、何か変わっているに違いない、とよく観察しようとしてみたりもする。結局学校も、どんなに制度が整って、例えば、発達障がいのある子どもたちへの対応マニュアル（？）ができたって、ひとりひとりの先生個人の判断や手腕次第なのだ。ある日、「先生って仕事は大変ですねえ」と言うとき、知り合いの先生から、「でもみんな選んでこの仕

オーレロ通信に寄せて

昭代

「不登校だった僕から君へ」（津谷治英さん著）という本で神戸フリースクールのことを知り、ホームページで「ボランティア募集」を見て、ドキドキしながら初めてフリースクールを訪れました。スタッフの方から少しお話を伺ったあと、「さっそくですが、昼食作りを子どもたちと一緒にお願いします。」とお血に山盛りの野菜炒めを作りました。・あれから8年が経ち、そのとき一緒に野菜炒めを作った女の子は今素敵な女子大生です。フリースクールも2階のリフォームや新しいキッチン、1階のリフォーム、畑の白いテラス・と訪れるたびに姿を変えていきます。そして昨年は神戸自由学院を開校され、いつも子どもたちにより過ごしやすい環境を、と努められる田辺先生、スタッフの方々にとてもパワーを感じます。私自身は、この8年間少し

走りすぎたようで最近はずっと歩きたいなあ、と思うこともしばしば。
少しずつ減速しつつ日々過ごしています。30年来ファンの「吉田拓郎」は数年前から体調を崩し、今年、人生ラストの全国ツアーも半ばで倒れ中止となりました。若い頃は熱い思いを歌っていた彼も今年はこんな曲を書いていきます。
「ガンバラナイけどいいでしょう」
♪今日はいったい何がどうしちゃったんだろう
胸の中のどこかがスッキリしない 朝から頭の中も重たい感じで
動きたくないんだから仕方ない（中略）
がんばらないけどいいでしょう 私なりにって事でいいでしょう
がんばらなくてもいいでしょう 私なりのペースでいいでしょう
ちなみに今、私の携帯メールの着メロはこの曲で、
「♪がんばらないけどいいでしょう」と、1日に何回か流れています。

3か月は長い

カズ

フリースクールに通い出してもうなんだかんだ3ヶ月。学生の3か月といえど、先生たちは短いと言えど、そこにいる生徒はとっても長く感じてるんですね。

ここに来て、最近特に思うことがあるんです。文化の違いって、国外旅行から帰ってきた人が嬉しそうに話している事BEST3ですが、ここに来たときにもそんな気持ちになりました。友達が誰一人いない、あまり馴染みのない神戸の会話。そこに毎日通うことはやっぱり緊張します。でも実際に自立するということとは、そういうことなんだろうと思うんです。切り替えが大事。それは分かっているだけけど、わかってるだけでは何もできないというもの。このフリースクールに来てから3ヶ月。特にそこが強くなった気がしました。



話は変わりますが、今とてもバンド活動が楽しいんです。これは音楽やっている人独特の遊びですよね。先日ライブが終わったのですが、最高でした。他のバンドの演奏が聞けたり、裏で音楽の話で盛り上がったたり。……. なんとってMCが学園祭バりに自由です。それはそれはイタイタイバンドもありました。たまにはプロとは違い、お金があまり発生しないライブに行くのも、また違う世界で面白いです。皆さんも、日がな一日。一度ライブハウスに出向いてみてほしいかもしれません。

事をしてるんだからね」と返された。すごいなと感じた。大変だけど、「好きだからやっている」って、この世の中でこう言える人ってどのくらいいるんだろうっ！

オトナは好きなことをするのがいい。仕事は我慢してやるものだって思ってる人、多いんじゃないかな。そういう場合もあるかもしれないけど、でも好きな中での我慢って当然。好きじゃないのに嫌々やっているとのはちょっと大変。真面目な人が多いんじゃないかな。真面目が悪いんじゃない。でも、真面目は度が過ぎると、息が詰まっちゃうでしょ。で、我慢をしている人は知らない間にそれをして子どもたちにも押しつけている。もっとおらかなオトナが増えてほしい。わたしもそういうオトナになりたい。「不登校？ 何かいけないの？」と、平気で言うのけちゃう人。神戸フリースクールは、そういうオトナや子どもを育てている

のだ。と思う。さあ、愉しく生きよう。

初めまじっ。

北斗

久しぶりにオーレロ通信を発行するという事で、200字以内で原稿を書いてくれと、ちこと編集長に頼まれてしまいました。作文や自己紹介は大の苦手なのに！

ボクがフリースクールと関わるようになったきっかけは、2年ほど前に田辺先生から「フリースクールの高等部を作る為にビルの一室を借りたので、その部屋の工事を手伝ってくれ」と頼まれてしまい、それが終わった後も何かと田辺先生から電話で呼び出され、いつの間にかスタツフに……。そんなわけで、現在は畑の管理とか雑用やっています。そろそろ畑で一番厄介なイリオモテ朝顔をどうにかしようという計画。夏休み明けにみんなに手伝ってもらおうかな。

- 夏休み - 大石寿子

季節は もう秋だけど、私は今「人生の夏休み」と名付けた時間を、過ごしています。こんな時間を持てるようになるまでは、子供の事、仕事、夫婦の問題、親の介護と看取り…次々 起こる出来事に、24時間営業のような年月を送ってきました。そんな私にとっては「物」より 自分のリズムで動けて使える「時間」は サイコーの自分へのご褒美。とりあえず、疲れた身体を休め、好きな事だけ気ままにするというのが、一番の目的。取り留めのない時間の流れの中に、身を置くと、気持ちの余裕や、新しい発想が得られて、カラダもココロも解放され、生き生きとしてくる。贅沢な幸せ。気ままにとは言っても、自分で決めた「夏休み」だから、終わる時も自分で決める必要があるのが、辛いところです。かれこれ2ヶ月、いろんな想いも整理出来て、し残した宿題も出来上がったような気持ちになってきているので、そろそろ「夏休み」は終わりにして、また 人生の流れの続きに、踏み出す時は、近いということでしょう。

生徒にインタビュー★

フリースクール生にインタビューしてみました♪

- ① 神戸フリースクールに入ったキッカケ
Sちゃん「ホームページを見て」
Tちゃん「知り合いの人に聞いて」
- ② フリースクールは楽しい？
Sちゃん「居心地がいい。スタッフや、友達と話すのが楽しいです」
Tちゃん「友達がたくさんいるので楽しいです」
- ③ 最近ハマっていることは？
Sちゃん「色々な人と出会うこと。そして話すこと」
Tちゃん「料理番組を見ること、卵焼きを作ること」
- ④ 先生やスタッフ、生徒の印象は？
Sちゃん「初めは、周りにどう思われてるか分からなくて怖かったけど、最近は皆と仲良くなれて嬉しいです」
Tちゃん「先生やスタッフが面白くて、友達と一緒にいるのが楽しいです」
- ⑤ これから先、してみたいこと
Sちゃん「高校生になったらバイトしてみたい。それから、お菓子作りにもチャレンジしたい」
Tちゃん「篆刻の先生になりたい」

Sちゃん、Tちゃん、ありがとうございました



脱・思い込み

イチー

健康だけが取りえだと思ひ込んでいた私が、この5年の間に手術や入院をすることを余儀なくされた。

その病気とは別に今は関節リウマチと格闘中。私の中では近々治る予定！

ピアノを教えている身ながら、両手に力が入らず出来ない事が多い。

そんな私が卓球？できるはずがないよ…と自分で思ひ込んでいた。

なのに、ラケットを持ってみたら振りやすくなった。割り箸を割ることができないのに卓球ができた。とっても驚いたと同時に嬉しい出来事であった。

思い込みや過去の経験から人や物を見ることなく、真っ白な気持ちで見たい！

苦手だ、絶対にできないと思っていることから逃げるのが常であったが、少しでもチャレンジできたらいいのにと思う今日この頃である。

ペダルを回す

れつ

一昨年ぐらいまで、原付が日々の移動手段だった。ある日、雨に濡れた道路を旋回しきれずに横転した。ひざをすりむき、脇腹を打撲したぐらいで事なきをえたのだが、原付のハンドルはぐねぐねと曲がり、ヘッドライトが粉々に砕けた。自転車を購入しようと決心したのは、去年の今頃だったのだろうか。

坂を見ると自転車に登りたくなる。もちろん登っている時は苦しいし、二度とやりたくないと思えるのだが、自分の力で登っているという充実感、そして登り切った後の爽快感がたまらなく良い。

身体感覚に突き動かされる経験が少なく息苦しくなる。傍からみると馬鹿げていることが、実はとても楽しいという事はよくある話だ。今、僕にとってのそれが自転車である。

順風満帆というわけには
いかないけれど・・・

うらら

人生は自分で切り開くとは言うものの、なかなか思うようにには運びません。好むと好まざると、いろんな力で右往左往させられ、かき乱され、全くもって勝手な方向にいつてしまします。でもそんな想定外の展開をも享受し突き進んでこそ、後からお楽しみがやってくるような気がします。迷い

込んで悩めるのは子も親も同じ。でもタフに乗り切って笑ってみせる、そんな力を身につけて、我が子の前をとっとと先に進んで行きたいと思うのです。

幼稚園の習い事事情

エミリー

近頃の幼稚園児（特に年長）においてほとんどの子供が何らかの習い事をしていて、していない子供がいないぐらいだ。水泳、サッカー、空手、バレエそれからピアノ、英語、そろばんに公文などのお勉強等々一人で三つほどの習い事に行っている子供もいる。けっして早期教育をさせるつもりはないが、そう言う私もあれもこれも、できないよりは、できた方がいいんじゃないかと思うのも事実である。

子供が何かひとつ、好きで自分に自信の持てるものができればいいのだけれどと思う私はやっぱり親バカなのかもしれない。

産む力・生まれる力

くに

今私のお腹の中でこそ動いている人がいます。まだ見ぬその人は確かに私のお腹の中で育っていて、指を吸ったり（おっぱいを飲む練習！）、しゃっくりをしたり、外の音を聞いたりにしています。とても不思議な感覚です。

ところで、昔は出産といえば自宅で産婆さんが取り上げてくれていましたが、今では病院で生まれる赤ちゃんが約99%。残りの1%が自宅や、「助産院」という助産婦さんだけしかない施設で生まれています。そしてそういうお産を選ぶ人が最近増えてきているのです。

私自身は3人のこどものうち2人を助産院で、1人を個人病院で産んでいます。3人とも、薄暗い畳の部屋の上で、家族に見守られながらの、静かな、幸せなお産でした。そういう自然なお産で

は、お母さんも赤ちゃんもお互いを傷つけないように上手に産み、生まれてきます。そういう自然な力が本来私たちには備わっているのです。もちろん命を守るために医療の力が不可欠なお産もあります。そしてどんなに医療が発展しても、救えない命があることも忘れてはいけません。こうして生まれてくる人間ってすごい！

生きていく私たちってすごい！

ミステルと私

ユウ

Mr. childrenを好きになって17年。

ドラマの人が好きなのですが、あのパッション、自由、不自然すぎる自然体。なかなか出来ないことなのです。だから憧れてしまうのです。

好きなことを胸を張ってしている。そうでありたい、そうなりたいと思います。好きなこと、裁縫。そんなイシイユウコです。

